

第 1 講から第 12 講を振り返って

夏休み前に前期を振り返りましょう。夏休み明けには、新たに学習の目標を設定して、授業を意味あるものにしていきましょう！

■「授業のねらい」の確認

(シラバスから抜粋)

現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷、社会福祉における子ども家庭福祉の視点を理解する。

社会福祉の制度や実施体制を理解するとともに、相談援助について学び利用者の保護に関わる仕組みについて理解を深める。さらに社会福祉の動向と課題を考察する。

前期の授業では、主に「社会福祉の意義」「社会福祉の歴史」「社会福祉と子ども家庭福祉の関係性」について学習してきました。

私が担当する授業では、特に、自分なりに考えるために必要な材料を得ること(ものごとの見方や考え方)に注目し、「考える授業」「社会に興味を持つ授業」となるように、教科書と教科書以外の実事例を基にしてきました。

授業の内容は、自分自身の価値観とみなさんが先生になるにあたって持ち合わせておきたい価値観のギャップに気づき、社会福祉の考え方を知りながら(感じながら)、人と社会の支援には答えは一つではないことを知ってもらえるように工夫しています。そして、みなさんが先生である以前に人であるということに注目し、学習したことを仕事以外でも活用できるようにお話しています。

前期は、まず、自分自身の気づきがあることが求められます。授業内課題や復習を通じて、今一度「子どもの支援」の土台にもなる「社会福祉」について知って、考えてみてはどうでしょうか？！

■「授業の到達目標」の確認

(シラバスから抜粋)

- ① 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。
- ② 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。
- ③ 社会福祉における相談援助について理解する。
- ④ 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。
- ⑤ 社会福祉の動向と課題について理解する。

前期の授業では、上記のうち①と②の達成に向けて学習してきました。そのため、考える授業が多かったという結果です。

後期の授業では、③から⑤の目標を達成できるように、深い知識について学習していきます。

■「授業の方針」の確認

Pando には、「授業(指導)の方針」を掲載しています。今一度、サイト全体を見て見ましょう。実は、第 12 講までに学習する事柄の要点もまとめられています。今一度確認をしてみましょう。

後期も授業の方針は大きく変わりません。専門学校や短大の授業の流れにも、徐々に馴染んでいきましょう。

■成績評価

シラバスに記載されている内容を踏まえ、総合的な観点で評価します。基準についての説明資料を後日配布します。

■連絡事項

- ◇ 夏休み前最後の授業(火曜開講:第 14 講/金曜開講:第 13 講)で、「授業の進め方アンケート」について確実に回答してください。事情があって回答できなかった方は、7/26(火)までに各自で回答を送信してください。
- ◇ 夏休み中は、復習の時間を設けて教科書を読んでみましょう。対象になるページは、P7~P69 です。
- ◇ 8 月 15 日(月)を目途に、復習用の参考資料(学習した事柄の要点をまとめたもの)を Pando にアップします。授業内で配布をしているアクセスの仕方を確認して、復習に取り組んでみましょう。

授業の内容が「わかるかわからないか」よりも、

今は「変わろうとするかしないか」が大切な時期です。

みなさんは、今までに経験したことのない授業でもそれぞれのできる限りのチカラを使って、一生懸命授業についてきたと評価しています。

「出来ない自分を自分で生まない！」

慣れないことばかりで大変だったと思いますが、

夏休みにリフレッシュして、後期の授業をまた踏ん張っていきましょう！！

やっていることには、必ず意味がある。意図がある。

私は、皆さんの成長を心から応援したいと思います。

無意味に無駄話をする授業をしているわけではないので、

後期もついてきてくださいね！

君たちの努力、君たちの人柄に救われる子どもや家庭は、たくさんあるはずです！

どうかみなさんが前進してくれることを願います！！